

ヒガシのアオハル



河口湖移動教室

1年生が東深沢中学校に入学して早いもので、半年以上もの時間が経過しました。学芸発表会を経て、生徒の成長を益々感じる中、学年の結束をより深められる宿泊行事、河口湖移動教室が11月4日から11月6日にかけて行われました。

夏休み前から、「移動教室が楽しみ」という声が生徒からたくさん聞こえ、私も準備に力が入りました。しかし2学期は中間考査、学芸発表会、部活動の大会の季節など、やるべきことが移動教室の前に控えており、良い移動教室にできるか不安がたくさんありました。しかし、実行委員をはじめ多くの生徒が力を発揮してくれたことでしっかりとした準備をして当日を迎えることができました。

1日目は酪農体験。えさをあげたり、乳しぼりをして生徒たちは牛から生命の大切さを感じ「いただきます」という言葉の重みを学びました。

2日目は富士山レーダードームでブリザード体験をして、一足先に冬の感覚を味わい「寒い、寒い」と言いつつ生徒たちは富士山の自然について楽しみながら学んでいました。宿舎に戻ってからのうどん作りでは、力を込めて生地を伸ばし、おいしいうどんを作りました。

3日目は河口湖フィールドセンターで溶岩樹型を見学し、狭く暗い道を通りちょっとした冒険を楽しみました。

移動教室中、生徒の成長を感じたことが2つあります。一つ目は話を聞く姿勢です。移動教室前の学年集会では、整列後に座る一瞬でも私語が始まり、話を聞く姿勢を作ることができませんでした。移動教室中、私は連絡のために何度も生徒の前に立ち話をしました。3日間繰り返すうちに班長や室長を中心に意識が変わっていき、私が前に立った時の私語が減っていき、最後はかなり早く話を聞く体制を作ることができました。「人の話を聞く意識」を今後も続けてほしいです。

もう一つは時間の意識です。渋滞などでどうしても行程が遅れてしまうタイミングはあったのですが、生徒たちの頑張りもあり、最終的に大きな遅れがある日は3日間で1日もありませんでした。全体を計画した立場として生徒たちに助けてもらったことです。集団生活において一人一人が時間の意識をできることは大切で、今後の学校行事でHIGASHIの中心になっていく彼らには忘れないでいてほしいことです。まだまだ、成長過程の1年生。2年生に向けて3学期も全力で学校生活を送って行きましょう。

(1学年移動教室担当 黒田 航平)

職場体験

11月4日(火)から6日(木)の3日間、2学年ではキャリア教育の一環として職場体験を行いました。今年度は62か所の事業所に協力をさせていただきました。職場体験当日は、どの事業所でも与えられた仕事に一生懸命に取り組んでいる生徒たちの姿を見ることができました。事業所の方からは、「自分から気づいて仕事をしてくれています」「挨拶がしっかりできていて素晴らしいです。」など嬉しいお言葉をいただくことも多くありました。生徒たち自身も実際の現場で働くことで、働くことの大変さを身をもって感じられたようです。また、キャリアについて、「働くこと」とはどういうことなのかを改めて考える機会となりました。このような体験をさせていただいた事業所の皆さまに改めてお礼申し上げます。

(2学年職場体験担当 藤田 百恵)



間もなく、2025年も終わりを迎えようとしています。保護者の皆様、地域の皆様、本年も多大なるご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。寒さが本格化する折り、インフルエンザをはじめとする感染症に十分ご注意いただき、どうぞ良いお年をお迎えください。

昇降口に挨拶サンタ登場!